

出雲を盛り上げました。



平成28年度 全国高等学校総合体育大会 柔道競技大会を出雲市で開催

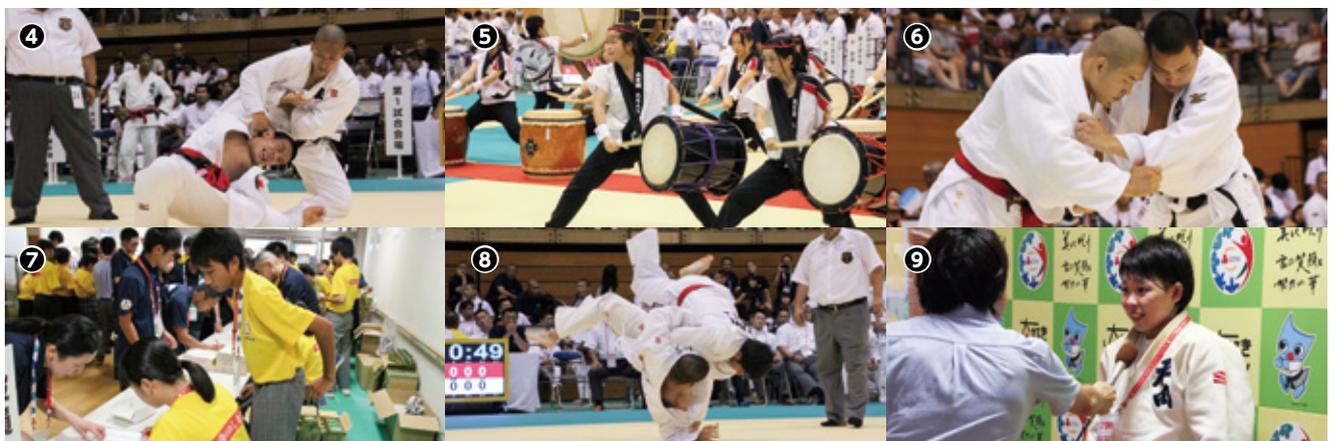
平成28年度全国高等学校総合体育大会柔道競技大会を、7月30日から8月3日まで、島根県立浜山体育館で開催しました。

大会には、全国から244校、914人の選手が出場し、男女の団体戦および個人戦7階級で、高校生日本一をめざして熱戦が繰り広げられました。

市内の高校からは、島根県代表として団体に男女各1校、個人戦では、男子5人、女子7人が出場し、全国の強豪選手と対戦しました。女子個人戦78kg超級に出場した白石麻葵佳選手(出雲西高校)は、5位入賞を果たすなど、出場した選手は、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。また、女子開始式では、黒崎美紅選手(平田高校)が選手宣誓の大役を果たしました。

このほか、大会の競技・運営役員、補助員として、市内の高校生・教員754人が大会を支えました。会場では、市内の各高校で作製した歓迎のぼりと出雲農林高校で栽培された歓迎プラントー(サルビア300鉢)が来場者を迎えました。

また、開会式直後のアトラクションとして「出農太鼓」(出雲農林高校)が満員の観客を魅了するなど、大会に参加した高校生がそれぞれの立場で役割を果たし、多くの方のおもてなしに努め、青春のページを飾るのにふさわしい大会となりました。



①女子78kg超級で5位入賞を果たした白石麻葵佳選手(出雲西) ②会場周辺を飾るのぼり旗やプラントー ③女子開始式で選手宣誓をする黒崎美紅選手(平田) ④男子66kg級1回戦での糸賀大揮選手(平田) ⑤出雲農林高校の「出農太鼓」 ⑥男子81kg級1回戦での下山智大選手(平田) ⑦大会運営を支える黄色いTシャツの地元高校生 ⑧男子90kg級1回戦での都間佳音選手(出雲工業) ⑨女子63kg級2回戦を終えインタビューを受ける星野綾乃選手(平田)

※大会結果の詳細は、中国総体ホームページ (<http://www.koukousoutai.com/2016soutai/>) でご覧いただけます。

この夏、高校生がスポーツで



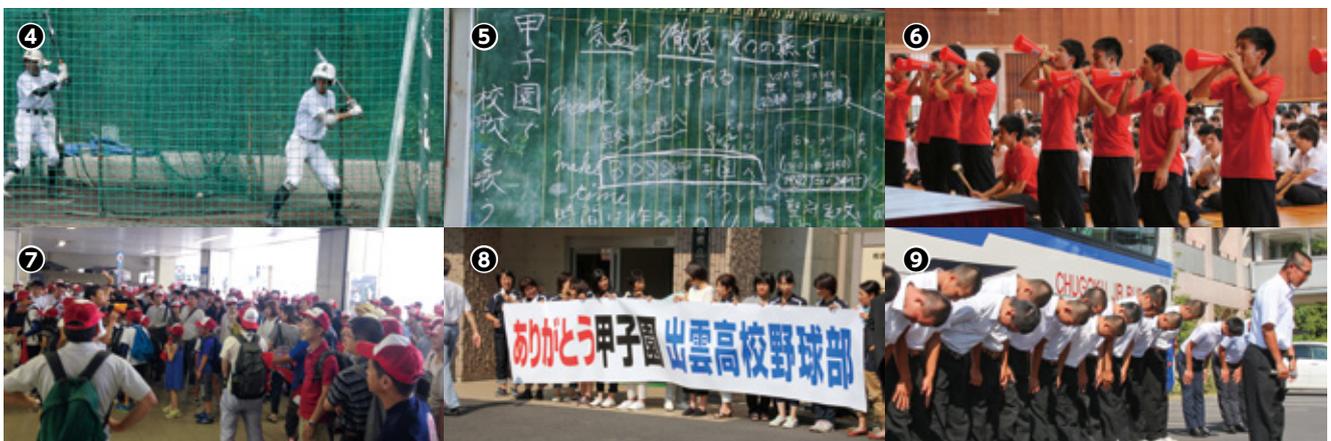
第98回全国高等学校野球選手権大会に出雲高校野球部が初出場

7月24日、出雲高校野球部が、第98回全国高等学校野球選手権大会島根県大会で優勝し、春夏通じて初めての甲子園出場を決めました。県大会では、打者と走者が一体となった「走打連携」で試合を勝ち抜き、栄冠をつかみました。

市内の高校が夏の甲子園に出場するのは24年ぶりということもあり、出雲は大いにわき、新聞やテレビでも連日、出雲高校の話題がとりあげられました。応援ムードが高まる中、8月2日、壮行式で多くの生徒や関係者の声援を受け、選手らは甲子園へと出発しました。

試合は、大会初日の8月7日。この日は早朝から、バス40台をはじめ、出雲からのたくさんの方々の応援団が甲子園球場へと向かいました。13時からの試合を前に、一塁側のアルプススタンドは、出雲高校のスクールカラーの深緋色の帽子を被った約4千人の応援団で埋め尽くされました。

対戦相手は、今春のセンバツ優勝校の智弁学園高校。試合が始まり、一球一球に熱い応援が送られる中、1点を返した3回裏には、応援席が歓喜に包まれました。試合には1-6で敗れたものの、選手は、初の甲子園という大舞台で、強豪相手に堂々と、はつらつとプレーしました。試合後、応援席にあいさつをする選手たちには、割れんばかりの拍手が送られました。そして、私たち市民に夢と大きな感動を与えてくれました。



①市役所訪問(7月28日) ②選手を激励する長岡市長(7月30日) ③中央幼稚園児からのプレゼントにお礼を言う選手(8月2日) ④バッティング練習の様子 ⑤練習場の黒板 ⑥壮行式でエールを送る応援団(8月2日) ⑦JRで甲子園へ向かう大応援団(8月7日) ⑧横断幕で甲子園からの帰校を迎える保護者(8月8日) ⑨帰校し、関係者らに感謝を示す選手ら(8月8日)